

子ども発達学科准教授 伊藤 貴啓

1. 研究活動

著書			
シリーズ・福祉新時代を学ぶ 新選・児童の社会的養護原理	2012. 4. 1	(株) みらい	<p>保育を学ぶ学生が養護原理について学ぶための著書。</p> <p>B5版 全223頁</p> <p>編者：神戸賢次、喜多一憲</p> <p>共著者：伊藤佐陽子、伊藤貴啓、他16名</p> <p>本人担当部分：「第6章子どもの権利擁護」を単著。</p> <p>国連の「児童の権利に関する条約」を中心に、児童憲章や児童福祉法の原理に基づく、わが国の児童の権利擁護について示した。また、社会的養護を必要とする児童福祉施設に入所する子どもたちの権利について、その現状と制度・政策の実際及び今日的な課題を中心に整理するとともに、児童福祉施設の専門職の人権意識・権利擁護のあり方、また、児童福祉関連機関・国及び地方自治体のあり方についても著した。特に、児童福祉施設入所児に配布する「権利ノート」、児童福祉施設職員の「ケア基準」については実際のものを参考にして例示した。社会福祉法に規定された、苦情解決・第三者評価については、社会福祉法の理念に基づいたものであると同時に、児童福祉施設に入所する子どもの権利を擁護するには欠かせないものであること。更に、施設内虐待（被措置児童虐待）の防止について詳細に著した。</p> <p>本人担当部分 P90～P107</p>
新保育士養成カリキュラム 保育士をめざす人の福祉施設実習	2012. 4. 20	(株) みらい	<p>保育士を目指す学生に「福祉施設実習」の教科書として作成した著書。</p> <p>B5版 全152頁</p> <p>編集：愛知県保育実習連絡協議会「福祉施設実習」編集委員会 編集代表：伊藤貴啓、小川英彦</p> <p>共著者：青山勝、安形元伸、石田信二、伊藤健次、伊藤貴啓、他41名</p> <p>平成23年度からの厚生労働省の保育士養成課程の改編にともなう福祉施設実習の変更点を明確にし、また、児童養護施設で実習する場合の留意点や学習する視点、そして、実習事後指導における総括・自己評価等について著した。</p> <p>本人担当部分 P10～P14、P68～P69、P116～117</p>

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 養護原理Ⅰ	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
社会的児童養護について、原理・原則、児童養護実践の在り方、児童の権利擁護について、視聴覚教材を利用するなどして、理解しやすい内容の授業になるようにした。	教科書として、共著者として作成した「改訂 新撰・児童養護の原理と内容」（株式会社みらい）を利用した。また、児童養護実践及び児童福祉施設に関するドキュメンタリー番組を視聴覚教材として、社会的養護実践や社会的養護理論を教授した。
授業科目 児童福祉Ⅱ	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
実践事例とドキュメンタリー番組等を教材として、リアリティのある実践事例研究を行う内容の授業とした。	教科書として、編者として作成した「新 子どもの問題ケースブック」を利用した。そこに収載された実践事例をもとに、子どもへのケースワークについて教授した。
授業科目 社会福祉概論（音楽学部）	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
教科書や講義だけではわかりにくい社会福祉の実践場面を、視聴覚教材を活用して、理解を深めさせる工夫をした。	社会福祉の基本用語辞典、高齢者・障害児者・貧困・社会的養護等、音楽療法と社会福祉が関連づいた分野の視聴覚教材を利用して、社会福祉全般について教授した。

## 3. 学会等および社会における主な活動

全国児童養護問題研究会	2010. 6～現在に至る	全国運営委員
児童福祉施設のための性教育研究会	2009. 11～現在に至る	11月に結成準備会、1月から奇数月の第2土曜日に都内で定期開催して、児童福祉施設の性問題や性教育について研究している。
なごやかサポート・みらい		社会的養護の当事者支援推進団体の事務局オブザーバー
子どもサポートネット・あいち		NPO法人の理事
あいち子どもNPOセンター		NPO法人の理事